

お手入れとカートリッジの交換方法 (商品・交換用カートリッジ・交換部品に)

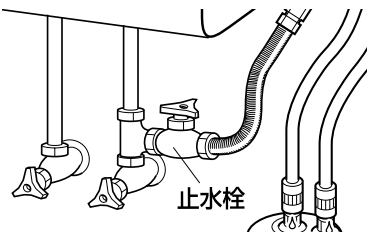
専用水栓は洗剤などが付着して汚れてきますので、時々乾いた布で拭いてください。

磨き粉、陶器用の酸性洗剤はメッキ面を傷つけたり侵食したりしますので、使用しないでください。

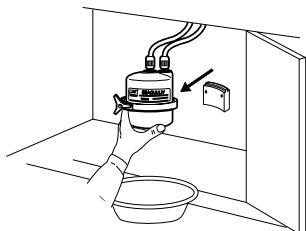
- 1** 浄水レバーを開き、水を流した状態にします。



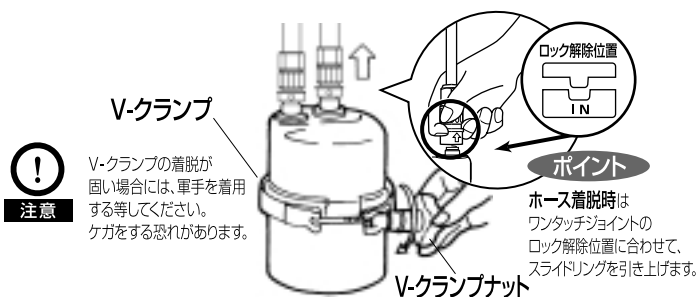
- 2** シンク下にある止水栓を閉栓します。



- 3** ユニット内に溜まった水が漏れますので、カートリッジ交換作業の前に洗面器やタオルなどを用意し、本体ユニットを取付フック板から外します。



- 4** ホースは、ワンタッチジョイント部から外します。V-クランプナットをゆるめて、V-クランプを外します。



- 5** 本体ユニットを上下に分割します。分割しにくい場合には…

先端が細いマイナスドライバーなどに、本体ユニットにキズが付かないように布等をかぶせ、すき間に少しずつ差し込み開けてください。



- 6** カートリッジを左回しにねじって本体ユニット上部から外します。



- 7** 交換用カートリッジを用意します。

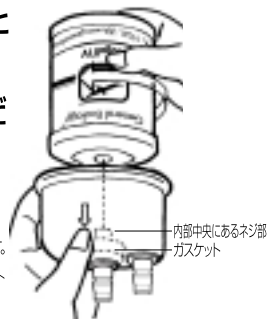
カートリッジ上部に白いプラスチックの保護カバーがセットされています。この保護カバーのつまみを上へ引っ張り、取り外してください。



- 8** カートリッジを、本体ユニット上部・内部中央にあるネジ部に、右回しに真っ直ぐに締め込みます。ゆっくり締め込んでいくと固くなります。そこからさらに1/4回転締め込んだところで終了です。



カートリッジ部分の白い紙(不織布)ははかさないでください。取付け時にカートリッジは無理に締め込まないでください。ガスケット接着部がはかれて正しく浄化されない場合があります。また、真っ直ぐに締め込まないとカートリッジが破損する場合があります。



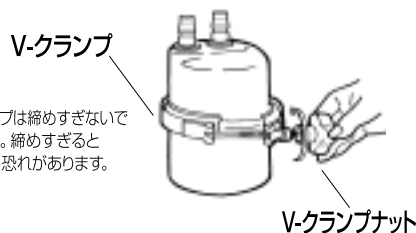
- 9** カートリッジの取付けが終わったら、本体ステンレス容器下部にユニット用パッキンが装着されていることを確認したうえで、本体ステンレス容器の上下を合わせてVクランプを装着します。



- 10** V-クランプナットを締めてから、ホースを接続して完了です。



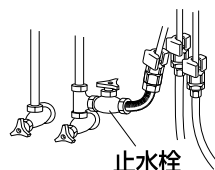
V-クランプは締めすぎないでください。締めすぎると破損する恐れがあります。



- 11** 本体ユニットをホースが折れ曲がったりねじれたりしないように、元のフック板に戻します。



- 12** 最後に止水栓を開栓し通水します。接続部からの水漏れがないことを確認しそのまま3分以上放流して、カートリッジ内の不安定な吸着剤や空気を出します。



カートリッジ取付け後は3分間以上浄化水を流してください。(不安定な吸着剤が混入しており飲料不可ですので必ず放流してください。)

使い初めの水は、不安定な吸着剤が混入し黒く濁って見えることがありますので捨ててください。

また、カートリッジ内部の空気が完全に出るまでは細かい気泡が入って白く濁って見えたり、水切れが悪いことがあります。このような現象は3~7日程度でなくなります。

注意

使用上のご注意 [浄水器専用水栓のご使用については、取扱説明書(別途)をご参照ください]

- 63℃以上の熱湯は火傷の恐れだけでなく、浄水機能を損なう恐れがありますので通水しないでください。(実用使用温度38℃以下で使用ください。)
- 浄化した水はできるだけ早くご使用ください。
- 飲用に合格した水(水道水など)以外にはご使用しないでください。
- 毎日のご使用前には、浄水を流してからご使用ください。(X1は10秒、X2は15秒)
- 2日以上ご使用にならなかった場合には、浄水を流してからご使用ください。(X1は30秒、X2は45秒)
- 長期間ご使用にならない場合には、カートリッジを取り外し、自然乾燥で、衛生上適した場所に保管してください。また、使用開始時には、浄水レバーを開の状態にし、滞留水を十分に流してから浄水をご使用ください。
- カートリッジの交換時期は使用環境により異なりますが、1年が目安です。1年未満でも流量が落ちてきた場合(カートリッジの目詰まり)、嫌な味や臭いが出てきた場合(過度のタンニン・硫黄・鉄等)はカートリッジを交換してください。
- カートリッジは長期間不使用の場合や交換時期以外、外さないでください。取付けネジ部が破損し、浄水機能を損なう恐れがあります。
- ホースが変形・破損することがありますので、高温になった器具や火気を近づけないでください。
- ノズルを持ち上げないでください。接続部が破損する恐れがあります。また、器具や物をぶつけないようにご注意ください。
- 水圧が低く浄水が出難い場合は、販売店までご相談ください。
- カートリッジ取付け後、使い初めの水は、黒い吸着剤が浄化水に混ざって出てくる恐れがありますので、3分間以上捨て水を流してください。健康を損なう恐れはありませんが、すぐに飲料しないで必ずコップ等で浄化水に異物混入がないことを確認してください。また、カートリッジ内部の空気が完全に出るまでは細かい気泡が入って白く濁って見えたり、水切れが悪いことがあります。このような現象は3~7日程度でなくなります。
- 近隣の水道工事等によって断水後は濁水が出る場合があります。カートリッジの目詰まりの原因となりますので、シーガルフォー以外の給水栓からしばらく放水してください。
- 吐水口を手で触らないことや水ハネなどに注意して、常に衛生的にご使用ください。
- 急激なレバー操作は、操作レバーが傷んだり「がたつき」の原因になります。また、急に止水すると、水栓内部の圧力が急激に上昇し、水撃音(ウォーターハンマーによる音)が発生したり、漏水で家財などを濡らす恐れがあります。
- ご使用とともに、レバー操作時の抵抗が少しずつ増大してきますが、故障ではありません。
- パッキンやガスケット等の消耗品は、1年ごとに交換することをおすすめします。
- 使用するうちにホース内部に水垢が付着し、浄水と一緒に流れ出てくる場合があります。このような場合、ホースの洗浄または交換が必要になりますので販売店までご相談ください。
- 使い終わったカートリッジは、新品のカートリッジが入っていた銀色の袋に入れて、不燃ごみとして処理してください。